

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションコーディネート Fashion Coordination		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(なし)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッションフィールド関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションアドバイザー (ブランド研究)				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
笹崎 綾野	福祉棟3F	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
ファッションコーディネートは、アパレル販売員やスタイリストおよびパーソナルスタイリストに求められるものだが、自身のお洒落を楽しむための教養として身に付けることも必要である。また、近年の高齢社会に伴い、高齢者や障がい者へ向けた“いきがい”の手伝いとしてファッションコーディネートの技術を提供できる可能性も考えられる。そこで、本科目では、数種類のコーディネートの特徴を知り、それを基に個人に向けたパーソナルコーディネートやテーマに合わせたトータルコーディネートの知識と技法について学ぶ。				
授業の目標				
①6種類のコーディネート技法を理解できるようにする。 ②個人の状況に合わせたコーディネート法を習得できるようにする。 ③テーマに沿ったトータルコーディネートを提案できるようにする。				
授業の方法				
講義形式。グループワークによる演習形式を含む。				
学習の成果 (学習成果)				
①パーソナルコーディネートができるようになる。 ②ファッション現場において、トータルコーディネートを実践できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション、コーディネートアイテムについて、コーディネート技術とその種類			
第2回目	カラーコーディネート① ビジュアル資料収集			
第3回目	カラーコーディネート② マップ作製			
第4回目	テキスタイルコーディネート① ビジュアル資料収集			
第5回目	テキスタイルコーディネート② マップ作製			
第6回目	イメージコーディネート① ビジュアル資料収集			

第7回目	イメージコーディネート② マップ作製	
第8回目	ライフスタイルコーディネート① ビジュアル資料収集	
第9回目	ライフスタイルコーディネート② マップ作製	
第10回目	アクセサリ・小物コーディネート	
第11回目	パーソナルコーディネート① 自身にあったコーディネート	
第12回目	パーソナルコーディネート② 理想に近づけるコーディネート	
第13回目	トータルコーディネート演習① コーディネート提案	
第14回目	トータルコーディネート演習② コーディネート実践、写真撮影、資料作成	
第15回目	発表・講評（トータルコーディネート演習）、まとめ 成果物提出	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	遅刻、欠席がなく、積極的に授業に参加しているかを評価する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	30%	発表（第15回）について、内容が分かりやすく発表されているか、発表態度が適切かを評価する。
その他	40%	成果物（第15回）について、トータルコーディネート演習の内容に創意工夫がみられるか、基礎を踏まえつつ独創的なコーディネートが提案されているかを評価する。また、期限内に提出されているかを評価に加える。
教科書と参考図書		
教科書：なし(必要に応じて、プリントを配布する)		
参考図書：文化服装学院編『文化ファッション大系 ファッション流通講座⑦ コーディネートテクニック 演出編』文化出版局 林 泉『スタイリスト&コーディネーターの条件』文化出版局		
履修上の留意点・ルール		
グループワークを含む為、原則、欠席・遅刻を認めない(やむをえない場合は、2/3以上の出席とする)。材料費、雑費は自己負担とする。忘れ物、飲食、私語、携帯電話の使用を禁ずる。		